



区民投票条例の審議が行われる品川区議会臨時会初日。品川ネットワークメンバーも傍聴を呼びかける大宣伝に参加。大井町一ヨーカー前。2020年12月23日



12月25日開催の臨時議会の報告を実施。区民投票条例案に対する各議員の賛否を明らかにしたネットワークニュース臨時号を配布。大井町ヘデストリアンデッキ。2020年12月27日

区政
now

品川区議会第3回臨時議会報告

住民自治の権利を無視する
自民・公明会派

品川・生活者ネットワーク 区議会議員 吉田ゆみこ



区民投票条例案は12月11日、「区民投票を成功させる会」の請求代表者により本請求され、それを受けた区長は4項目の反対意見を付して、議会を招集しました。

25日に開かれた臨時議会では冒頭、請求代表者11人の内5人の意見陳述がありました。

意見では区長の反対理由にももっともな点があり、区議会によるしかるべき修正も認めること、とにかく自分たちに意見表明の機会を与えて欲しいことなどが口々に訴えられました。

建設委員会賛成多数で可決！本会議逆転否決！

その後、条例案の審査が建設委員会で行われ、委員の一人から区長意見を反映させた修正案が提出されました。修正案と修正部分を除いた原案の両方の審査の結果、両案とも賛成多数で可決。ところが、その後の本会議では自民・公明会派の議員の反対により、18対21で逆転否決されてしまいました。

採決に先立ち、条例案に賛成、反対それぞれの議員の討

論が行われました。

賛成する立場からは6人の議員の討論があり、それらに一貫していたのは、地方自治法上の直接請求の権利は尊重されるべき、地方自治体の区議会が区民の権利を奪ってはならないという当然の主張でした。

区民投票は無意味!?では、区議会の決議は?

一方、反対議員3人の討論は、区民の直接請求は尊重するとしながら区長と同様の反対理由のほか、「区民投票の結果には法的拘束力がなく無意味」という耳を疑うような反対理由が述べられました。区長や自公議員は条例案への反対理由に「すでに区議会や区長が国へ意見を言っている」ことを挙げていますが、これらにも法的拘束力はありません。すべて無意味となり完全に自己矛盾です。

そもそも羽田新ルートは国が「地元の同意を前提」としながら、区民意見を問わない現状に対し、区民自ら「意見を言う場を作ろう」と動いたものです。地方自治法が定め



区民投票条例賛成に起立する18名の議員。2列目中央が田中さやか(左)と吉田ゆみこ。本会議場。2020年12月25日(写真:品川区議会より引用)

る厳しい要件をクリアし、直接請求された区民投票条例案を「結果に法的拘束力がない」と否定した自・公会派に対し、今後「法的拘束力のある区民意見集約」の方法を厳しく追及する必要があります。

コラム

「子どもの貧困に関わる調査」に参加しました

生活者ネットワークは、調査活動によってデータや情報を集め、それを根拠とした政策づくりをすることを重要視しています。一昨年のジェンダー調査、区立学校の香害調査、昨年の自治体電力調達調査など様々実施しましたが、この度は市民シンクタンクひと・まち社(NPO法人)が主体となって実施した「子どもの貧困にかかわる調査」に参加しました。

ひと・まち社は、これまで介護保険制度やそれに関連する自治体施策についての調査を続けており、品川ネットは毎回参加しています。例年品川区にも協力を得て、結果は区へフィードバックするとともに議会質問や政策提案などに活用しています。

今回の調査では子ども食堂ネットワーク事務局と、NPO法人ふれあいの家「おばちゃんち」の2団体からお話を伺いました。DVやネグレクトなど困難な状況に置かれている子どもたちへの支援には、きめ細やかな目配りや配慮が必要です。子どもへの支援であっても、親と子の両方への共感があってこそできることと痛感しました。

調査結果はひと・まち社としてまとめ、国や都への政策提案につながりますが、2つの団体から伺ったお話は今後の品川区への政策提案に活かしていきます。



■羽田区民投票条例 採決結果 2020年12月25日臨時議会 ○…賛成/18 ×…反対/21

| | | | | | |
|--------|--------------|----|--------|--------------|---|
| 石田 秀男 | 品川区議会自民党 | × | つる 伸一郎 | 品川区議会公明党 | × |
| 小芝 新 | 品川区議会自民党 | × | 新妻 さえ子 | 品川区議会公明党 | × |
| 鈴木 真澄 | 品川区議会自民党 | × | 若林 ひろき | 品川区議会公明党 | × |
| 芹澤 裕次郎 | 品川区議会自民党 | × | 安藤 たい作 | 日本共産党品川区議団 | ○ |
| 西村 直子 | 品川区議会自民党 | × | 石田 ちひろ | 日本共産党品川区議団 | ○ |
| 本多 健信 | 品川区議会自民党 | × | おくの 晋治 | 日本共産党品川区議団 | ○ |
| 湯澤 一貴 | 品川区議会自民党 | × | 鈴木 ひろ子 | 日本共産党品川区議団 | ○ |
| 渡辺 裕一 | 品川区議会自民党 | 議長 | 中塚 亮 | 日本共産党品川区議団 | ○ |
| 大沢 真一 | 自民・無所属・子ども未来 | × | のだて 稔史 | 日本共産党品川区議団 | ○ |
| 大倉たかひろ | 自民・無所属・子ども未来 | ○ | 須貝 行宏 | 品川改革連合 | ○ |
| 木村 けんご | 自民・無所属・子ども未来 | ○ | 筒井ようすけ | 品川改革連合 | ○ |
| 鈴木 博 | 自民・無所属・子ども未来 | × | 藤原 正則 | 品川改革連合 | ○ |
| せお 麻里 | 自民・無所属・子ども未来 | × | 田中 さやか | 品川・生活者ネットワーク | ○ |
| 高橋 伸明 | 自民・無所属・子ども未来 | × | 吉田 ゆみこ | 品川・生活者ネットワーク | ○ |
| 松澤 和昌 | 自民・無所属・子ども未来 | × | あべ 祐美子 | 無所属 | ○ |
| 渡部 茂 | 自民・無所属・子ども未来 | × | くには 雄大 | 無所属 | ○ |
| あくつ 広王 | 品川区議会公明党 | × | 高橋 しんじ | 無所属 | ○ |
| このん 孝子 | 品川区議会公明党 | × | 西本 たか子 | 無所属 | ○ |
| たけうち 忍 | 品川区議会公明党 | × | 松本ときひろ | 無所属 | ○ |
| 塚本よしひろ | 品川区議会公明党 | × | 横山 由香理 | 無所属 | × |

編集後記／新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制ができないまま2021年を迎えた。感染リスクが冬季に再び高まるとされていたが、政府は本格的な対策を打たず感染は拡大した。率先して予防を促す立場にある首相や議員が感染リスクを軽視した行動を繰り返し、市民の緊張感を削ぎ、さらなる政治不信を強めたことに憤る。東日本大震災から10年を迎える本年、都議会議員選挙、衆議院議員選挙がある。市民生活を第一に、命と向き合う政治を今年こそ実現させたい。(田中)